

紙本着色金陵山古本縁起(西大寺縁起)

指定区分	県指定重要文化財(絵画)
読みかた	しほんちゃくしよくきんりょうさんこほんえんぎ(さいだいじえんぎ)
所在地	岡山市東区西大寺中 西大寺観音院
指定年月日	昭和46年6月18日
解説	西大寺の縁起を描いたもので、金陵山とは西大寺の山号。周防国の女性が、仏師に依頼して造立した千手観音に彩色するため東方へ行く途中、備前国金岡の浦(現、岡山市東区西大寺)に停船したが船が動かなくなり、観音像を下ろすと動けるようになった。そこで、この地に観音堂を建てたのが西大寺の始まりであるという。のびやかな曲線と自由で明るい雰囲気をもつ絵巻の優品。永正4年(1507)の作。もとは卷子本だったものを、現在は2帖の冊子としている。附、1帖は、寛文元年(1661)以降にその後の霊験を書き加えたもの。
アクセス方法	
公開状況	岡山県立博物館にて保管
設備	
備考	